

[本 店] 秋田県仙北市角館町下新町45 / Tel.0187-54-1151  
 [営業時間] 10:00~17:00  
 [定休日] 水曜日

「ギャラリーを設けることで、一度のみならず何度もお越しいただける店舗にしたい」と橋本さん。



## 模索と挑戦を続け、「伝統」を継承



株式会社 藤木伝四郎商店

伝統工芸・樺細工の魅力を世界中に発信し続ける藤木伝四郎商店。本店がリニューアルオープン。

### ギャラリースペース誕生

嘉永4年に創業し、160年以上の歴史を重ねる角館の「藤木伝四郎商店」。樺細工の製造・販売元として地場産業を守り、受け継いできた。

4月1日、同社の歴史に新たな1歩が刻まれた。昨年11月からリニューアルのため休業していた本店が、晴れてオープンの日を迎えたのである。新たにギャラリースペースが設けられ、樺細工のみならず、“ものづくり”の匠の技や名品を紹介。第一弾は、湯沢市の川連漆器。今後は定期的に様々なジャンルの名工、現代作家の作品を紹介する。

### 世界のトップブランドも注目

ギャラリーの奥に続く江戸時代建造の内蔵も見逃せない。藤木伝四郎商店が誇る伝統の技、現代

の暮らしに合わせたデザインやシーンの提案など、樺細工の魅力をあますことなく堪能できる。

平成22年にオリジナルブランド「角館 伝四郎」を発表し、現代の暮らしの中で求められる樺細工の形やデザインを積極的に追求している同社。伝統の技術や工法を頑なに守りつつ、これからの樺細工はどうあるべきか、模索と挑戦を続けている。

そうして生み出される商品の数々は、国内外で高く評価され、今や全国の百貨店やセレクトショップ、「クリスチャン・ディオール」、「ポール・スミス」など、海外の名だたる店舗でも販売されている。

### よろずに相談し、原価管理に着手

国内外でファンを獲得する一方、新たな課題も抱えていた。「1つ1つ手作業で作るため、生産が追いつかず、お客様をお待たせしてしまうことがあった。解決には生産体制の強化が必要だった」と営業部長の橋本芽衣さん。そこで、当センターのよろず支援拠点に相談し、今まで手つかずだった工場の原価管理を行なった。これまで材料の扱いや生産現場の管理は、職人の経験や勘まかせだった。原価から見直し、しっかり生産状況を把握することで、コストや作業時間の無駄の削減を実現させている。

同社では大切に守る教えがある。それは「品を磨き、信頼を磨く」という初代伝四郎の言葉。この教えを見つめ直し、現代の樺細工のあり方を問うたのが昨年急逝した六代目だった。歴代の思いは確かに受け継がれ、伝統に新たな息吹を吹き込んでいる。



**A** リニューアル後の本店外観。玄関に入ってすぐギャラリースペースが広がっている。

**B** 店舗奥の内蔵では、歴代の名工の作から現代の暮らしに合わせた商品まで多数の樺細工を展示販売。

### 事業概要 秋田県よろず支援拠点

秋田県内の中小企業・小規模事業者のための経営相談所として、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します。コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ | あきた企業活性化センター 秋田県よろず支援拠点  
**TEL 018-860-5605**